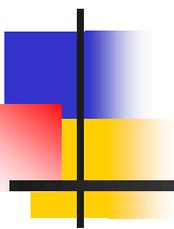


シャントPTA時に経験した合併症の1例



済生会宇都宮病院

○荒川和清、前島克哉、八神俊明、河野勲、
薄井広樹、加藤弘毅、谷村慶一、本多正徳

現病歴

- 70歳台女性
- H15 (2003)より慢性腎不全にて透析開始
- H23 (2011) 12月 シヤント再増設
- H24 (2012) 2月 QB低下(脱血不良)
- 同年2月29日 CT
限局性のシヤント静脈狭窄あり (画像供覧)
- 既往症
関節リウマチにて頸椎術後
要屋内介助、日中は主にベッド上
プレドニン内服(5mg/日)

AI
ID
*
St
2C
26

134U
010

L



Saiseikai Utsunomiya Hospital
St: 1000005749010
Feb 29 2012
09:59:54.796

R

Se: 9
512x512
DFOV 29.6(cm)
CT MIP 3D-A
RAO: 7.2
CRA: 0.0
W: 715
C: 245

AI
ID
*
St
2C
26

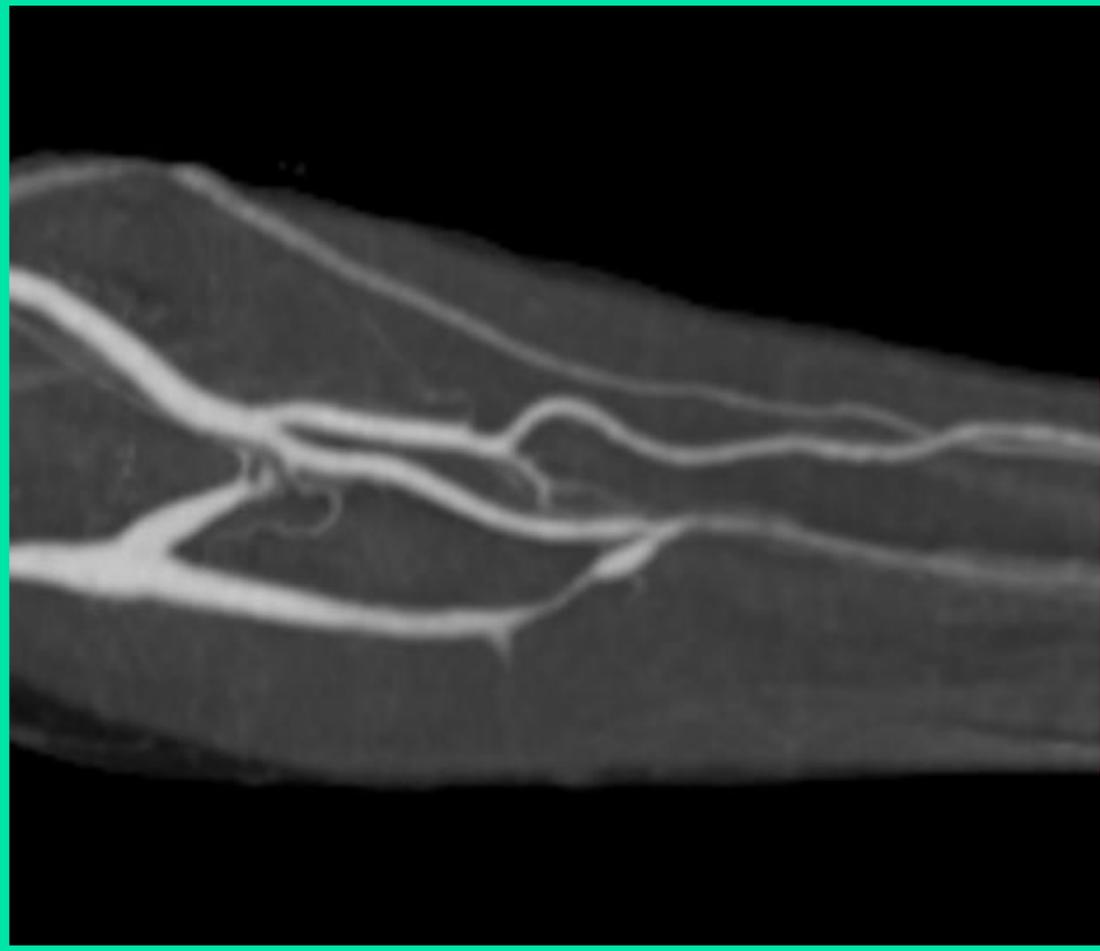
134U
010

H

Saiseikai Utsunomiya Hospital
St: 1000005749010
Feb 29 2012
09:59:54.796

R

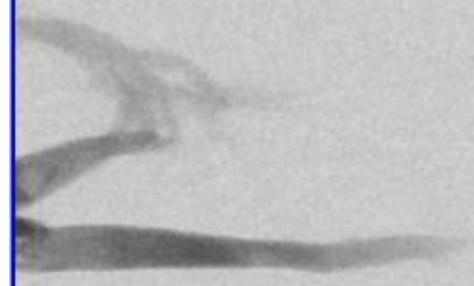
Se: 9
512x512
DFOV 29.6(cm)
CT MIP 3D-A
RAO: 7.2
CRA: 0.0
W: 715
C: 245



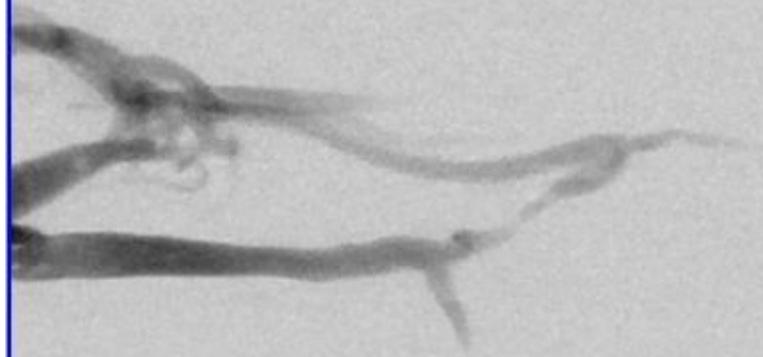
経過

- H24(2012)年3月12日PTA施行
CTの約2週間後

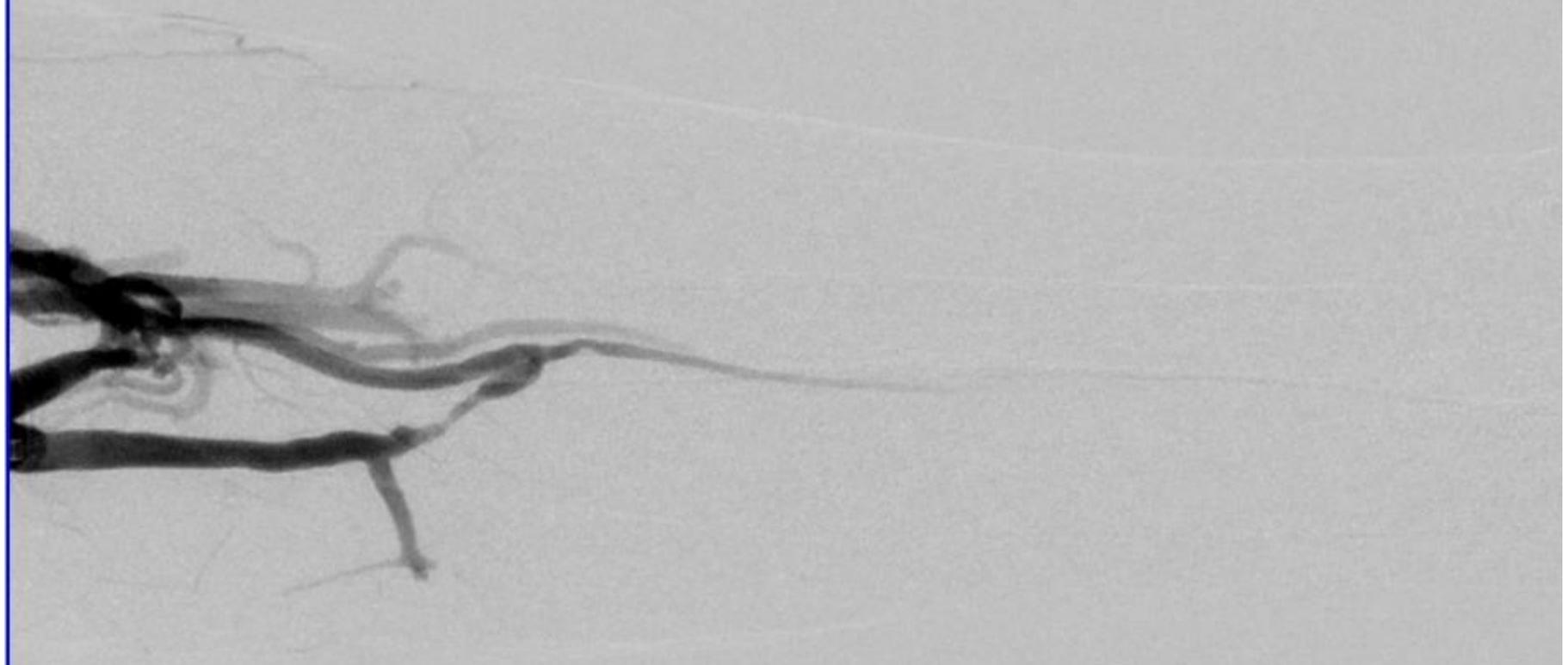
2012/08/12
300 IMA



2012/03/12
301 IMA



2012/08/12
302 IMA

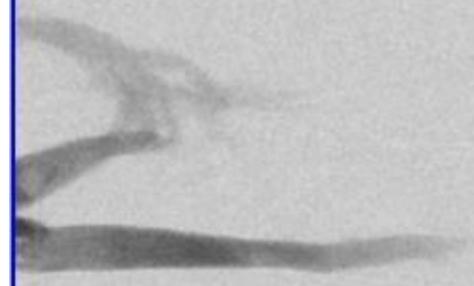


DSA Fix

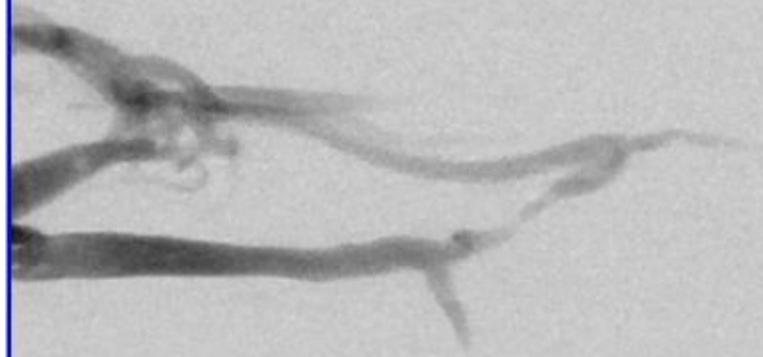
5月

- 
- もう一度

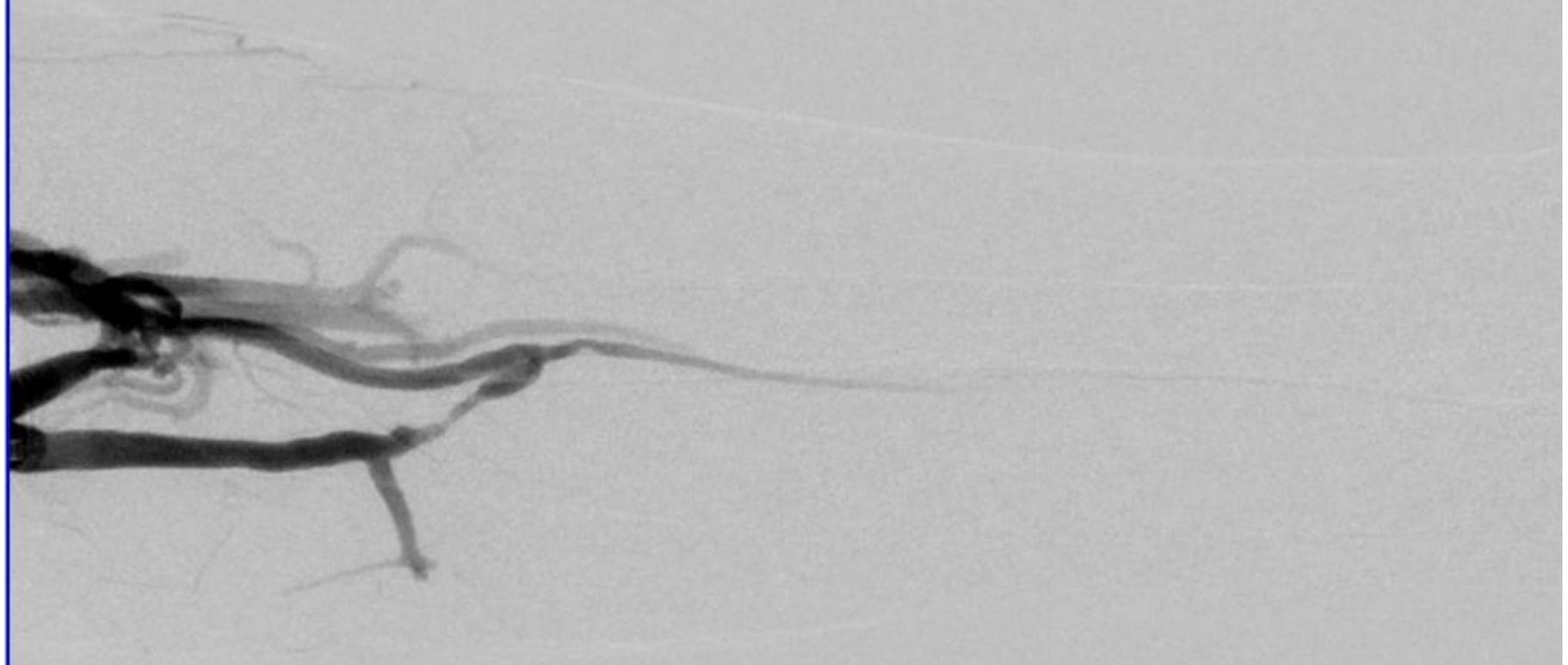
2012/08/12
300 IMA



2012/08/12
301 IMA



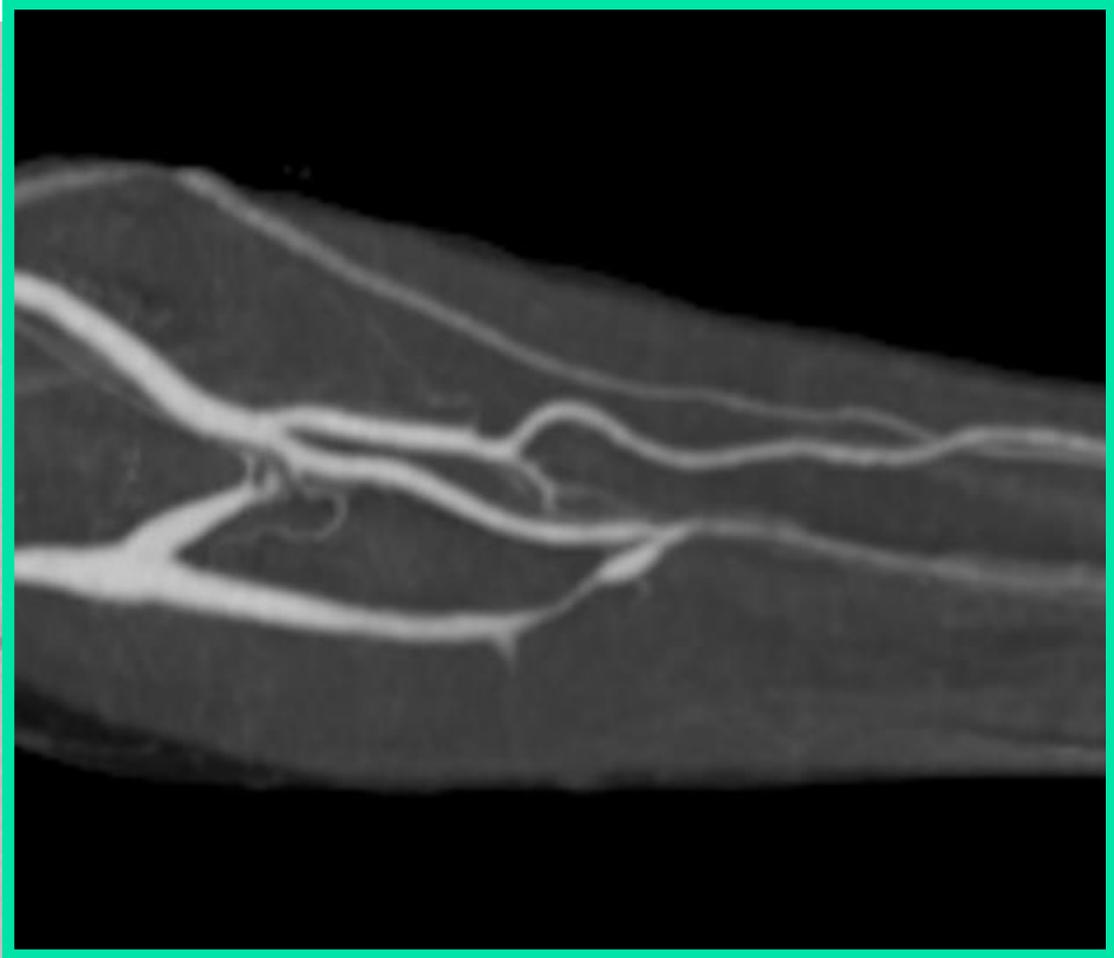
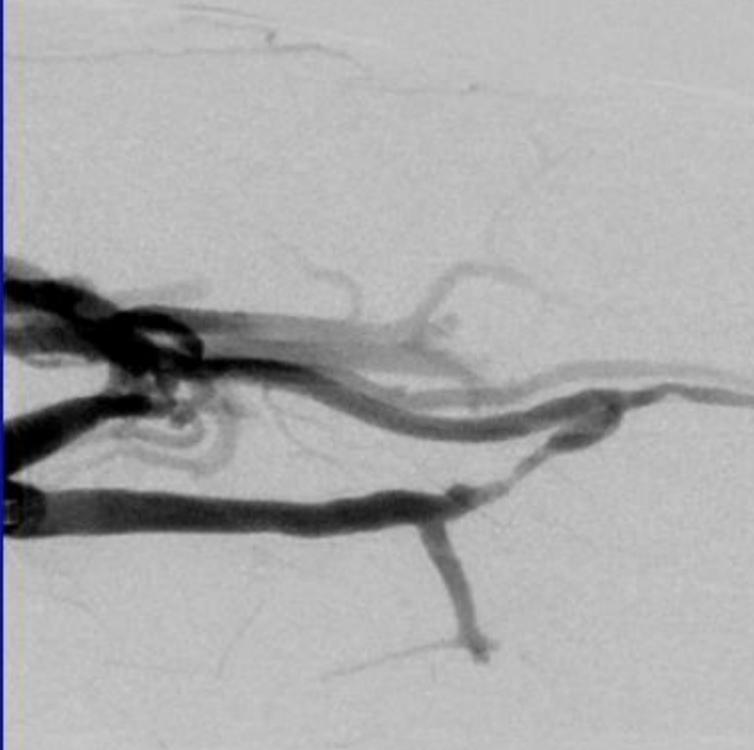
2012/08/12
302 IMA



DSA Fix

5月

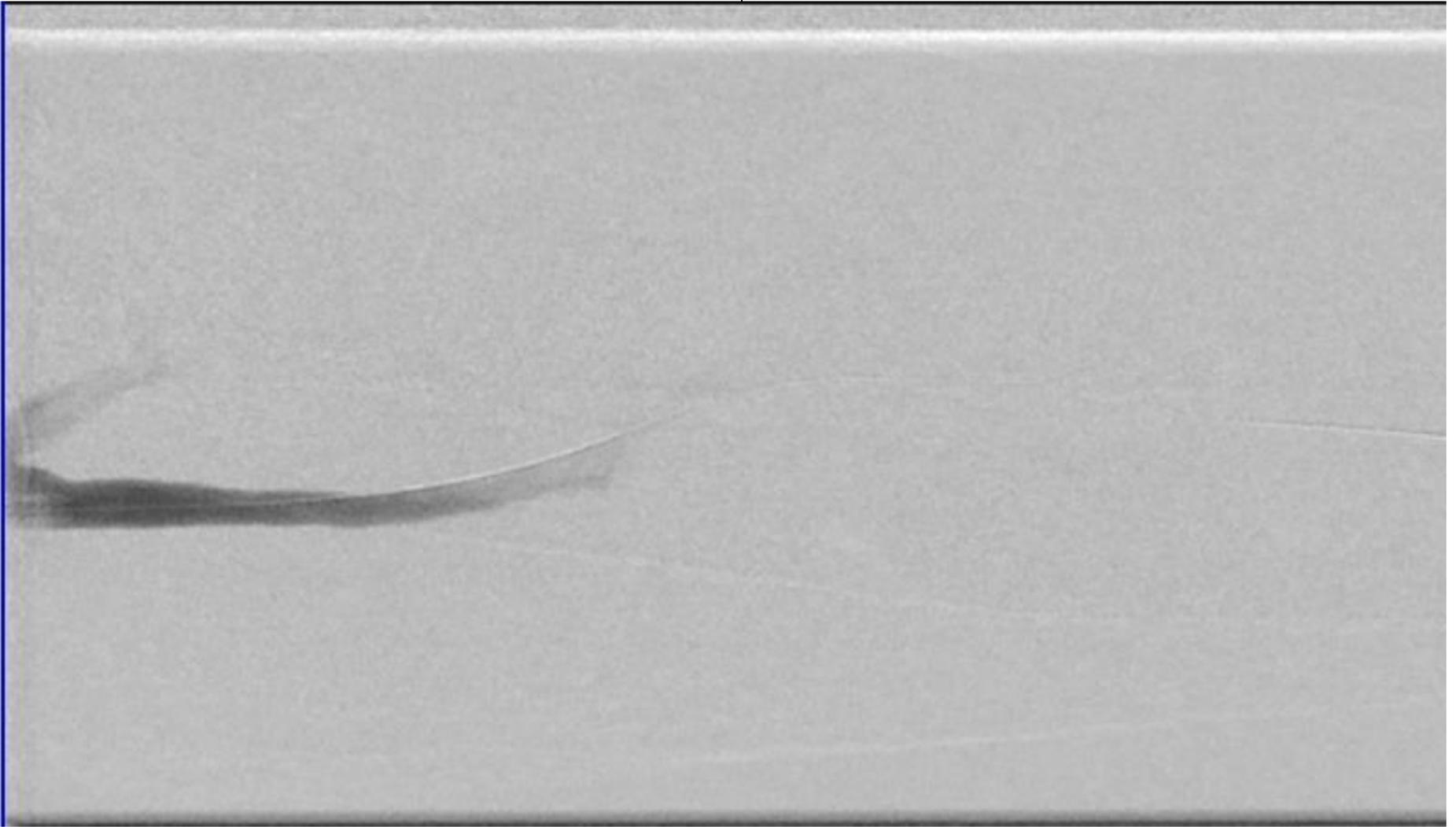
2012/08/12
302 IMA

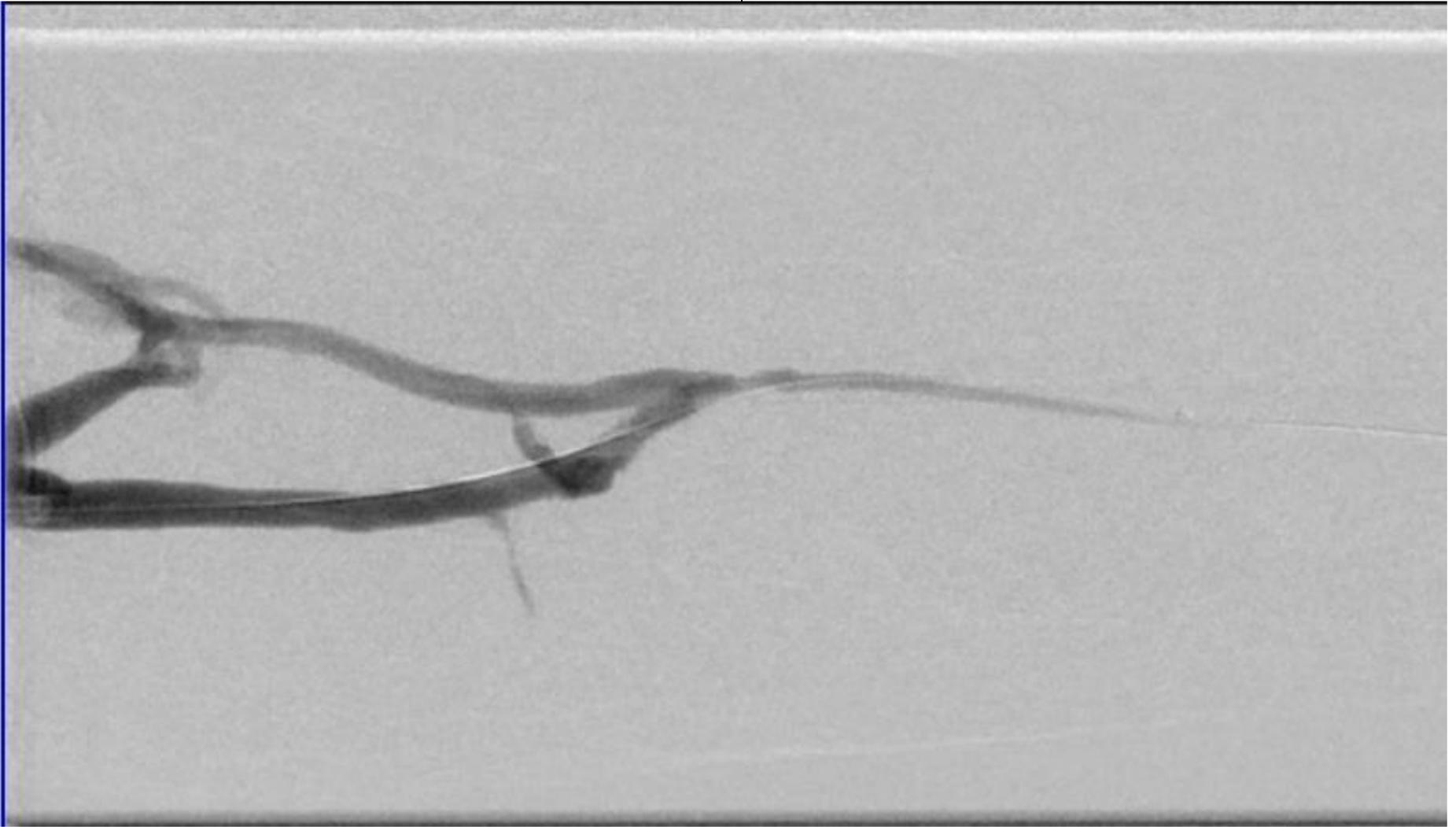


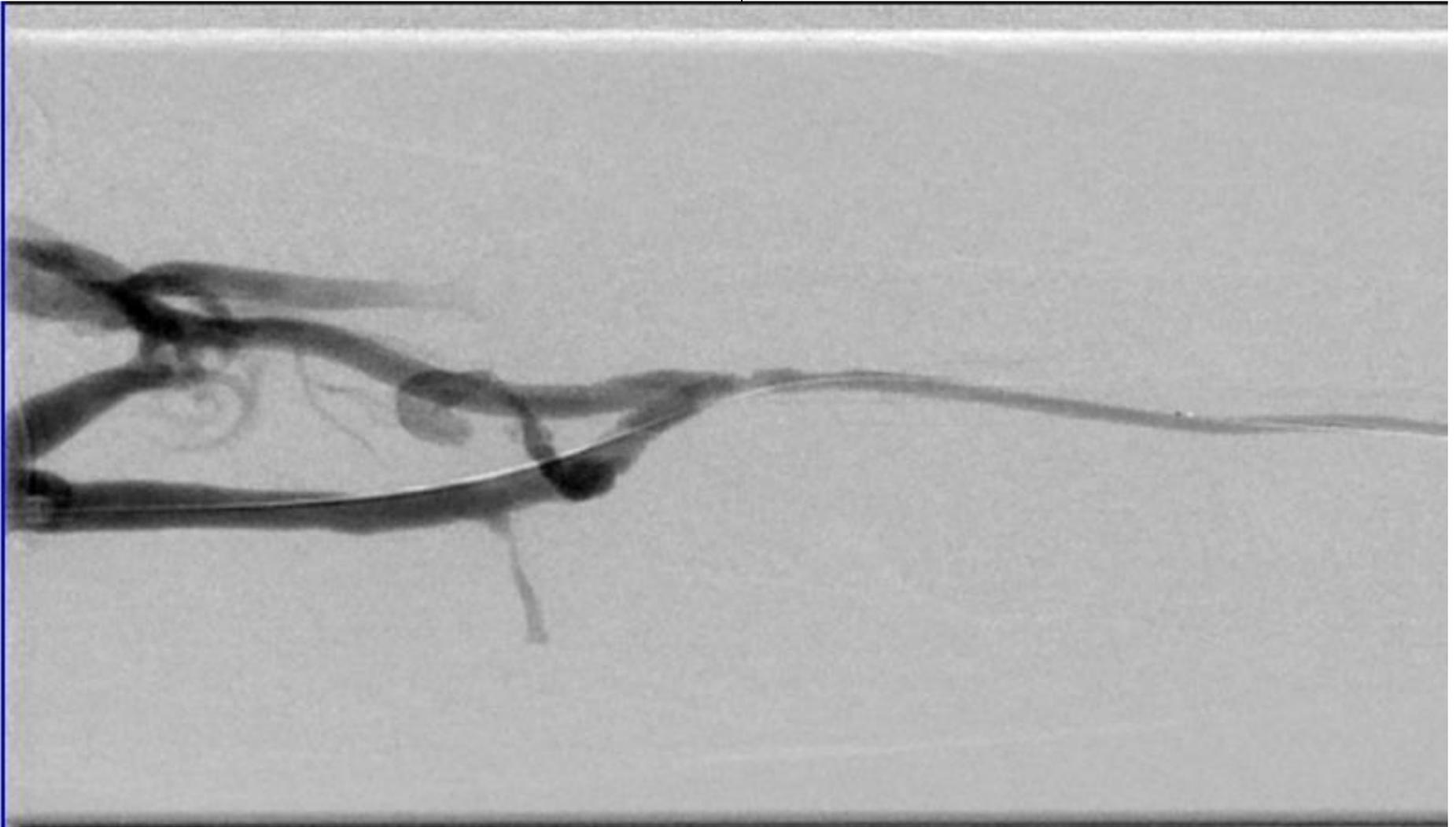
術前診断通り

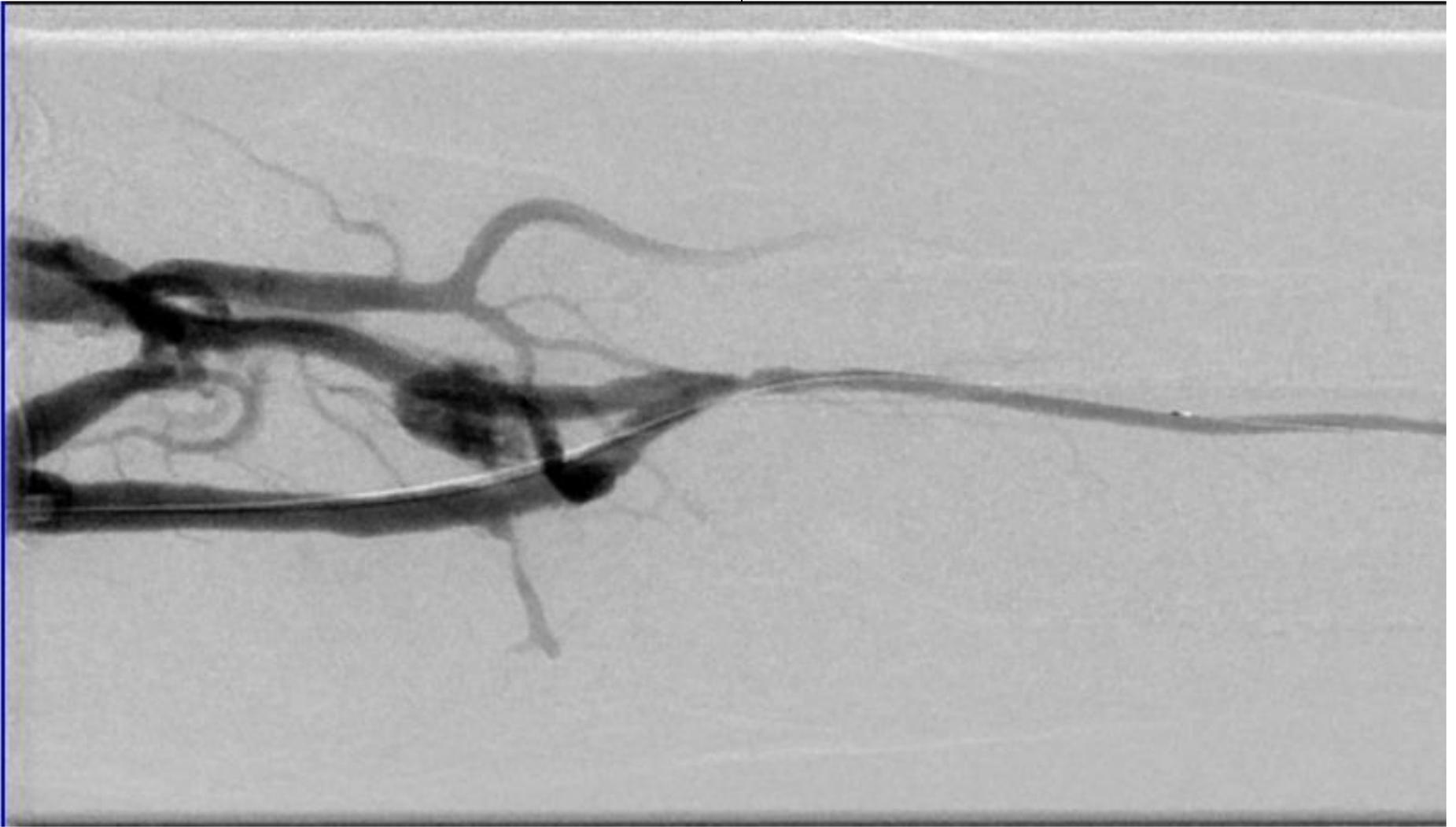
バルーン選択

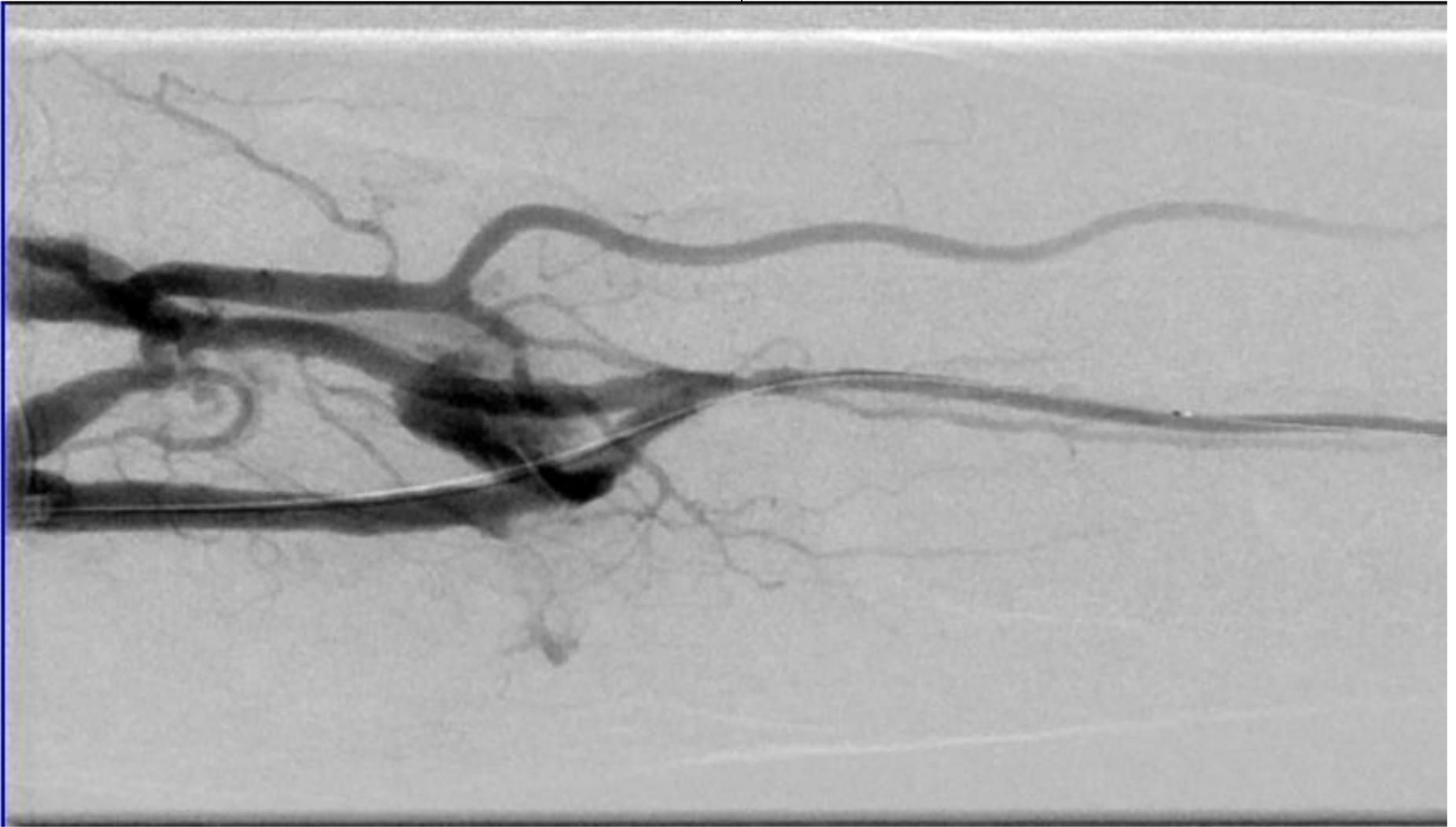
- 狭窄部近傍の健常血管径
4.8mmと計測された
- バルンカテーテル
不知火、4mm径、4cm長を選択
6気圧、3.73mm径まで拡張しwasitの消失
さらに12気圧、4mm径まで拡張した

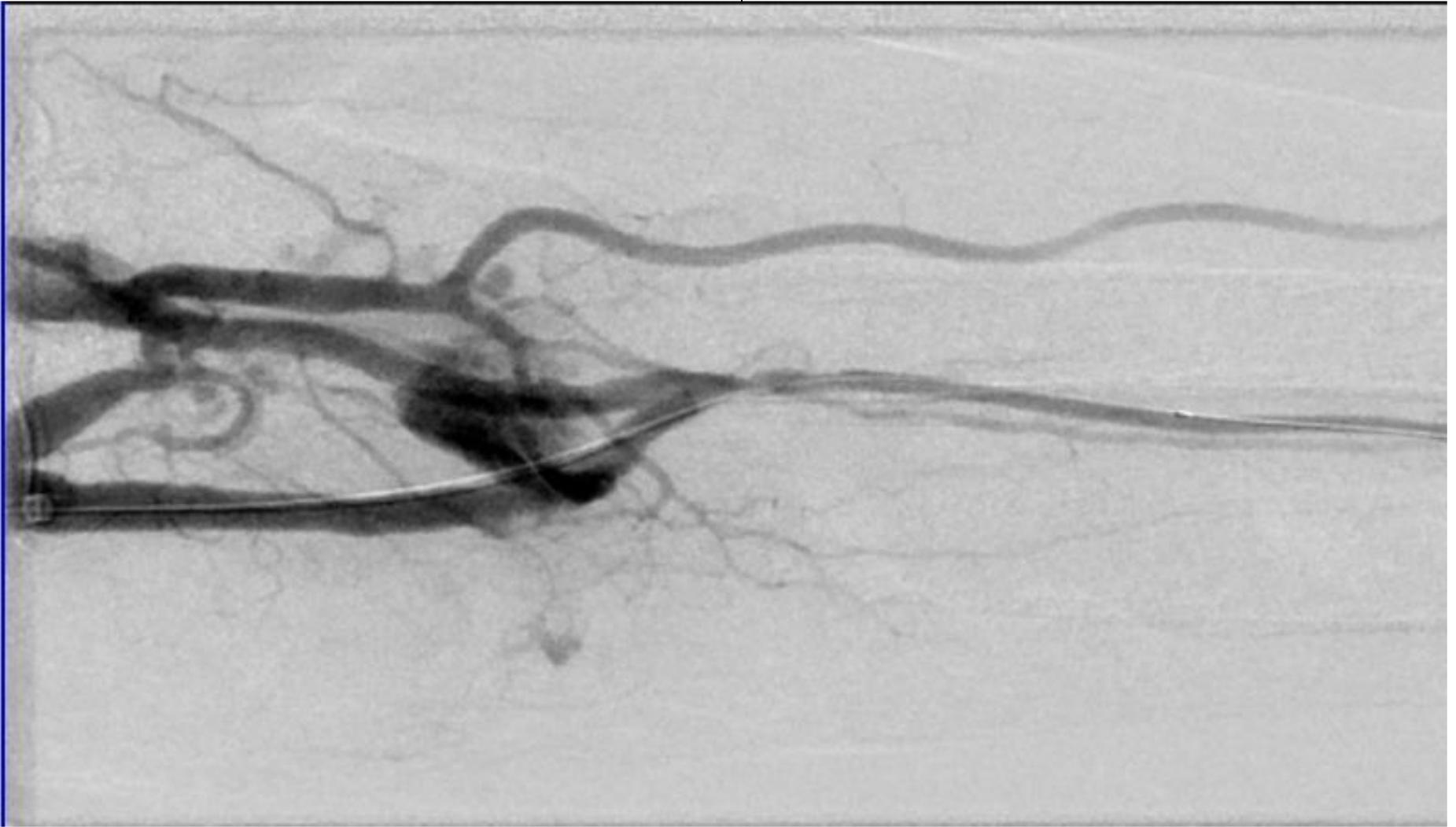


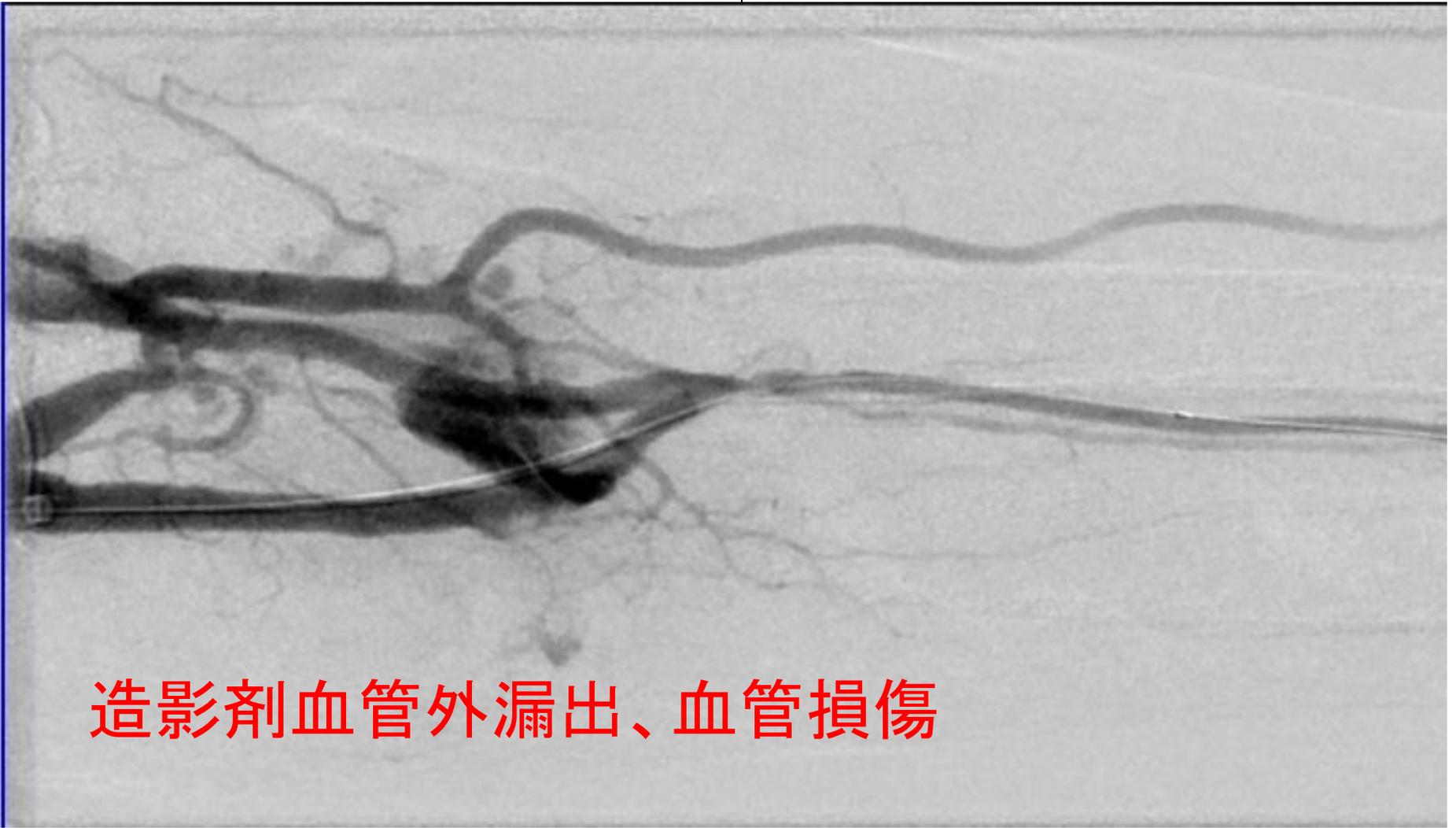










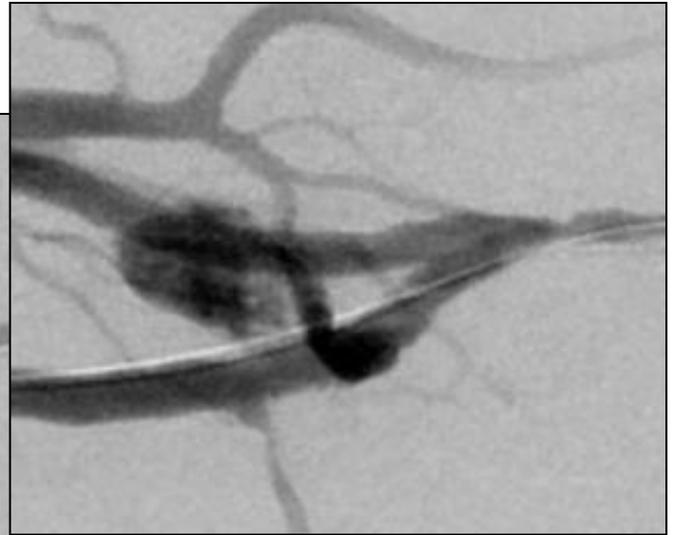
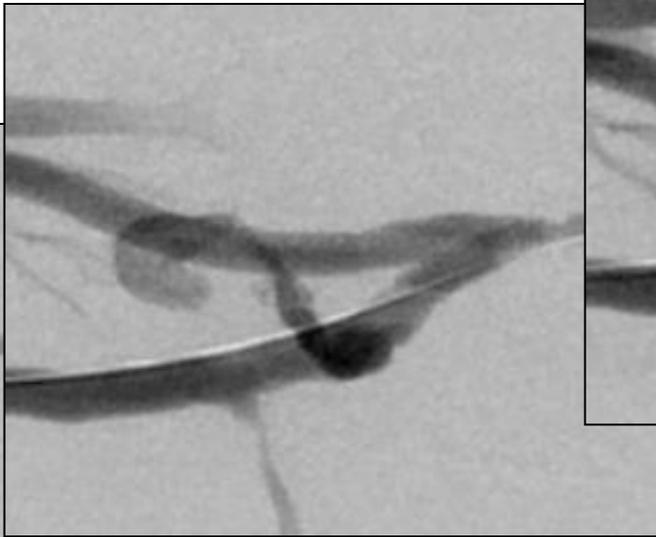
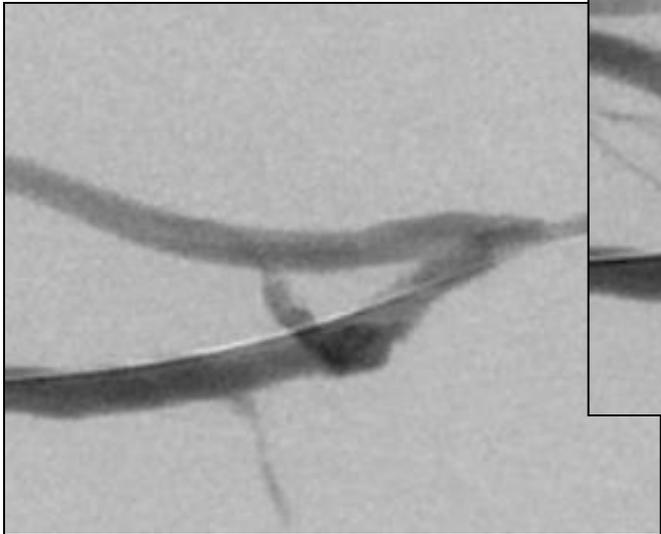


造影剂血管外漏出、血管损伤

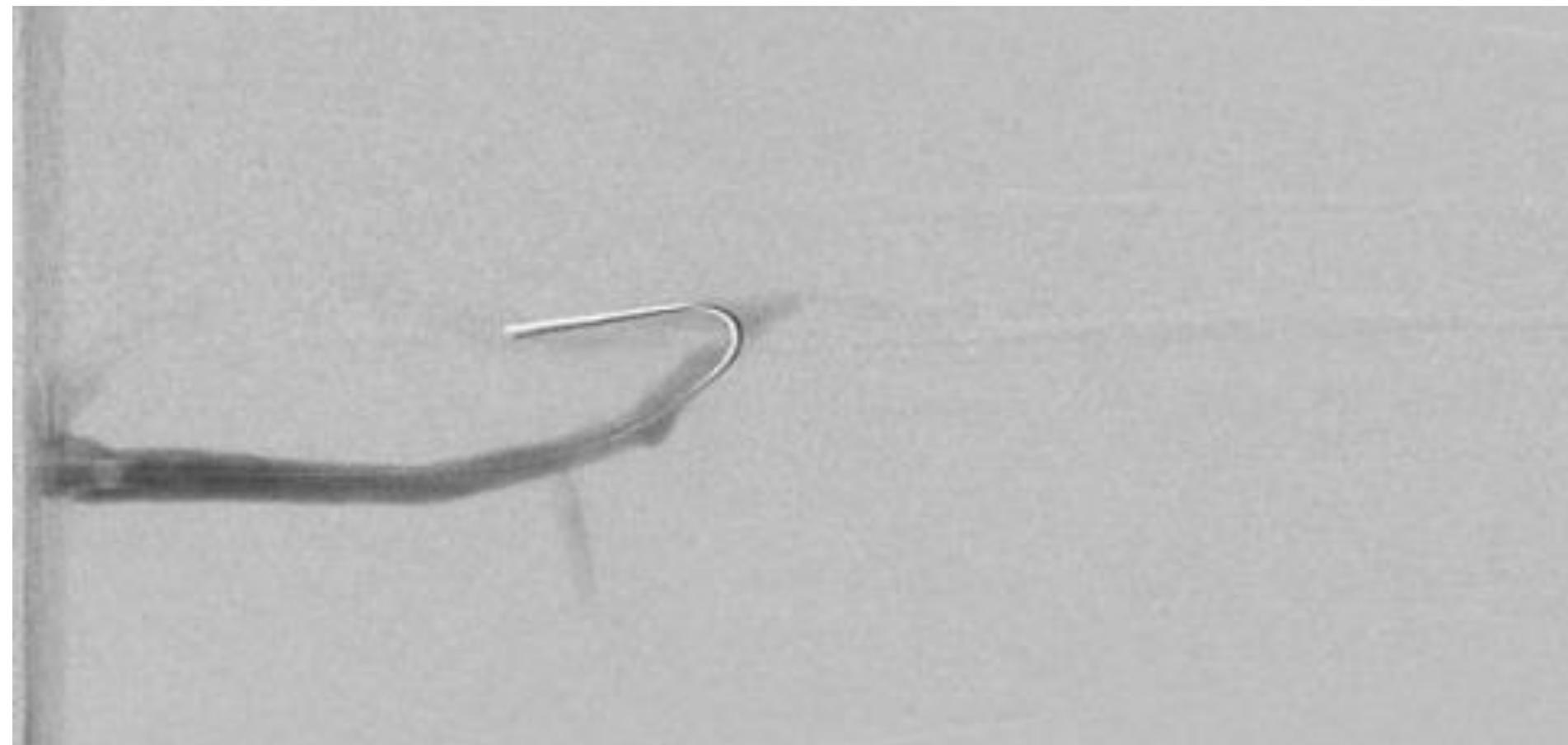
血管損傷後

- バルーンカテーテルの低圧拡張
及び体表からの圧迫止血施行

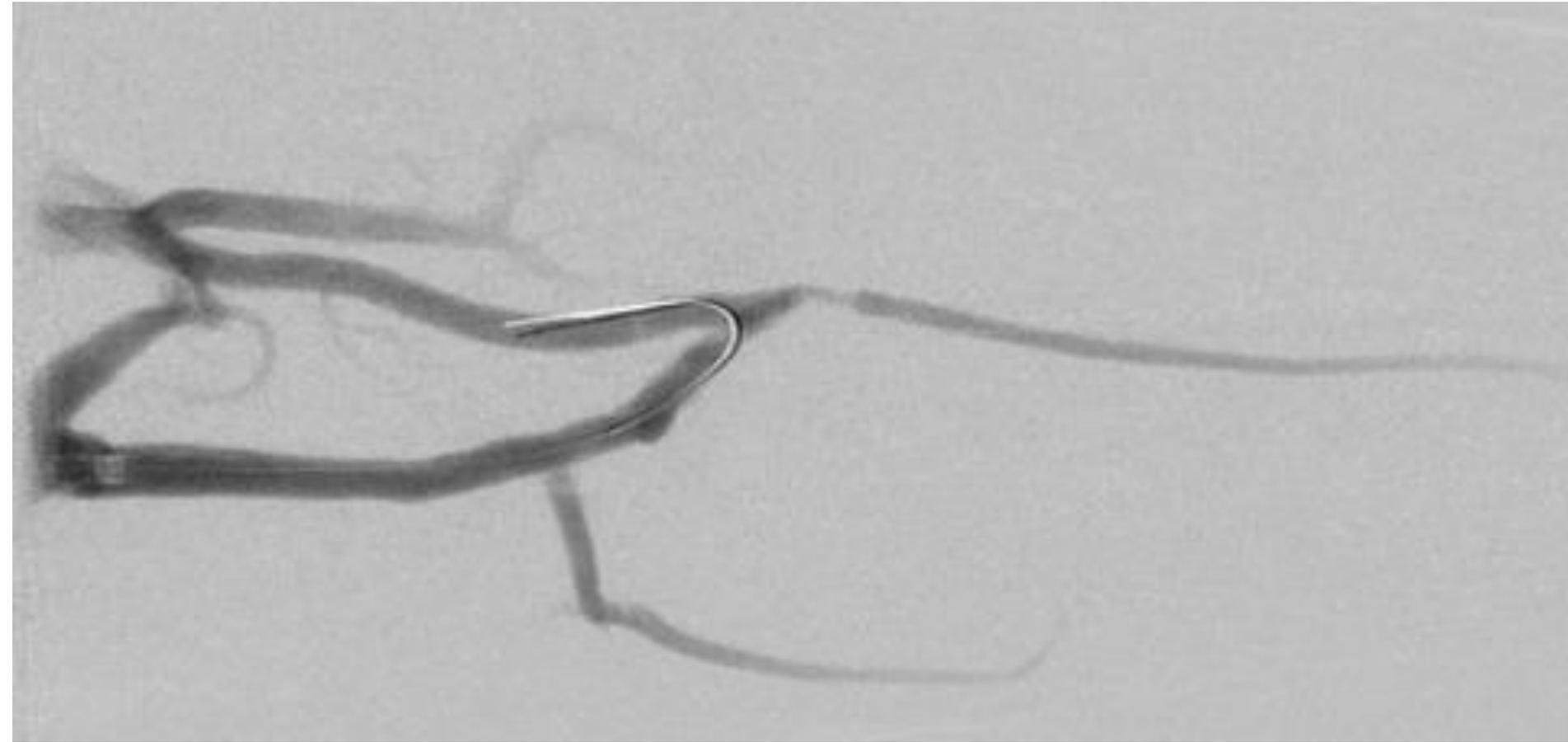
- 止血に3時間要した



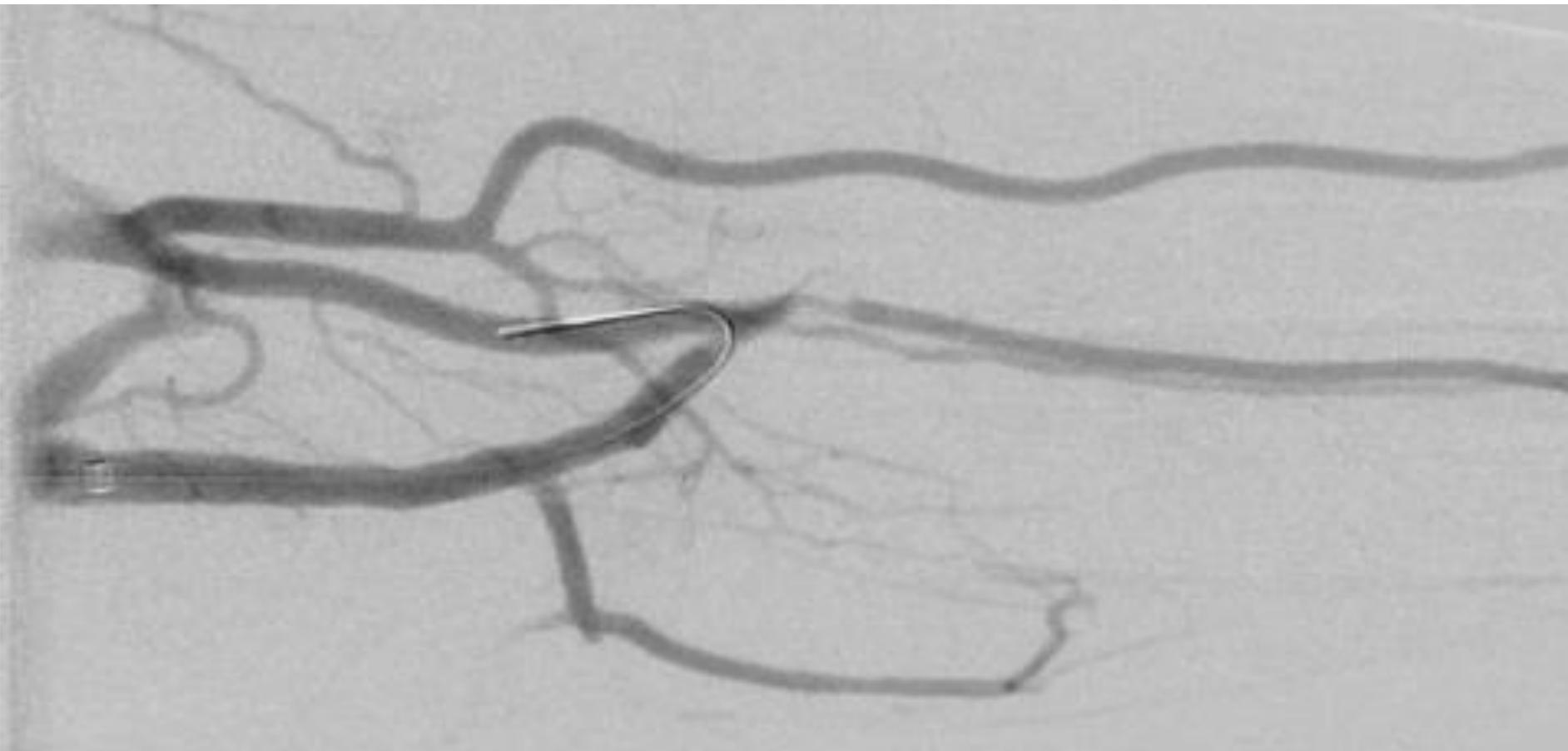
なんとか止血できて.....

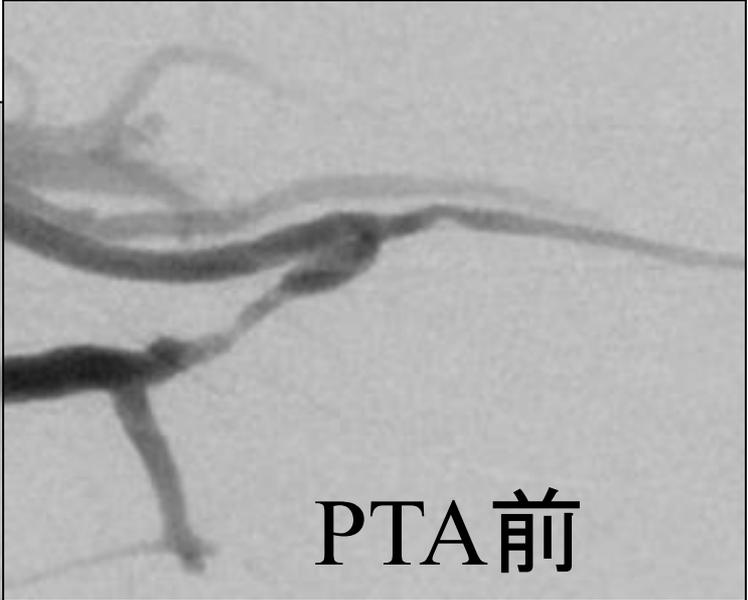
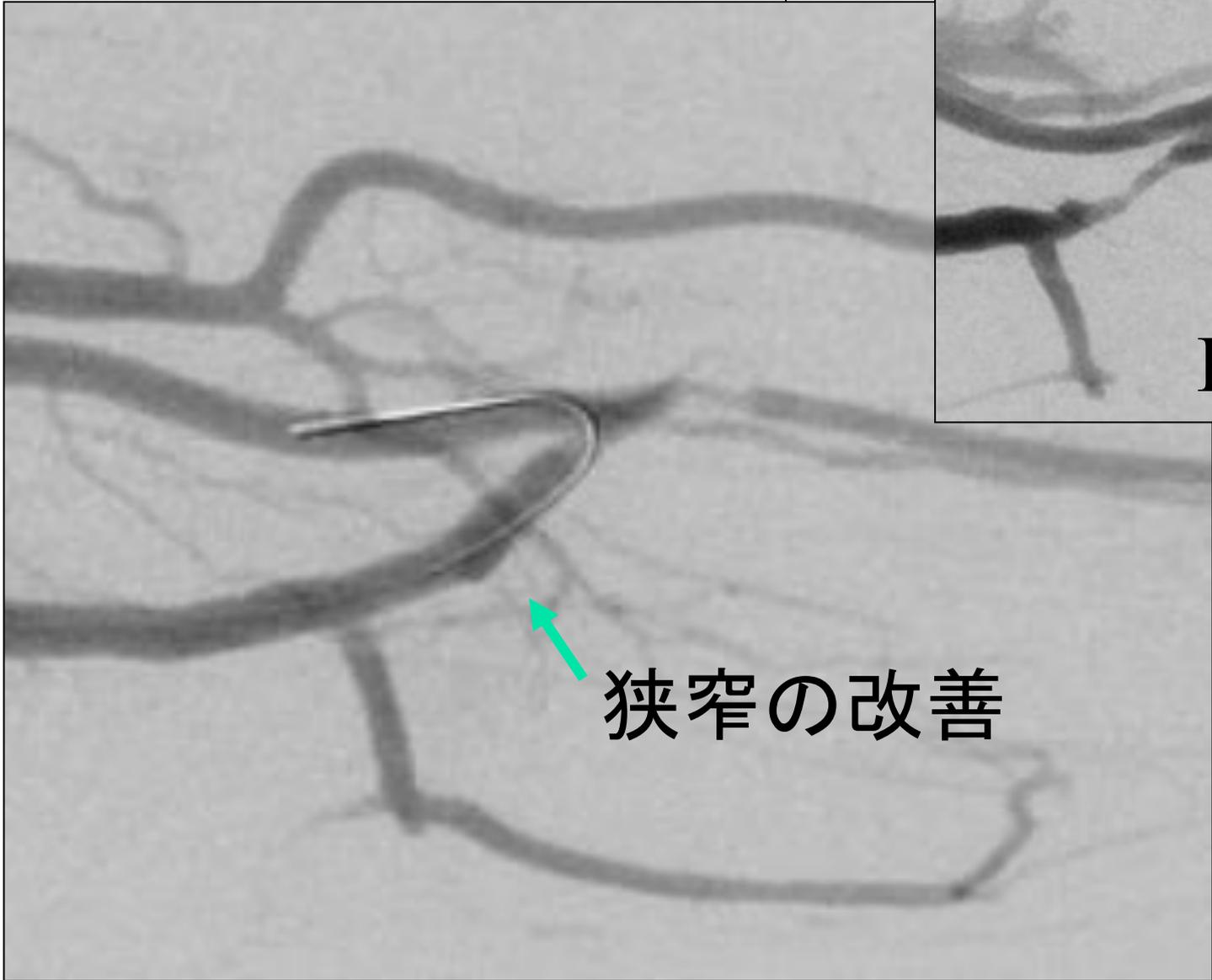


なんとか止血できて....



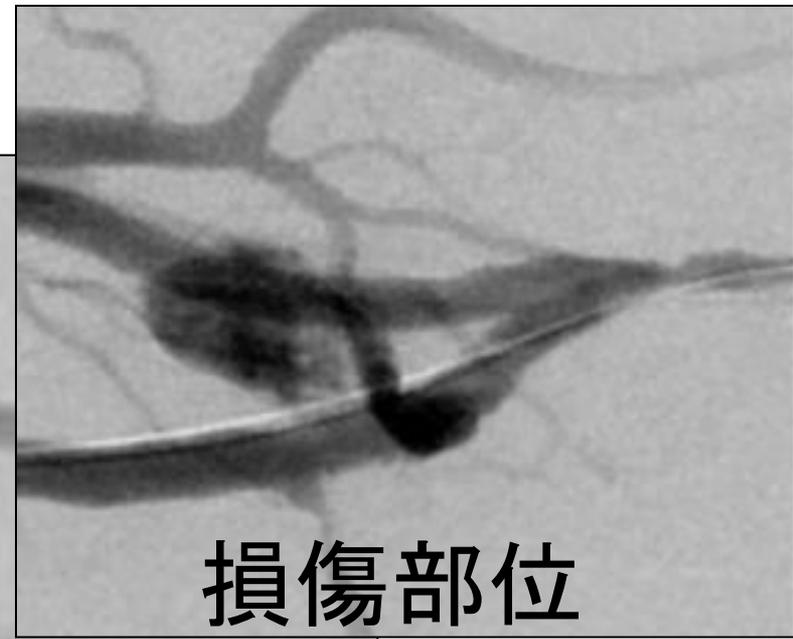
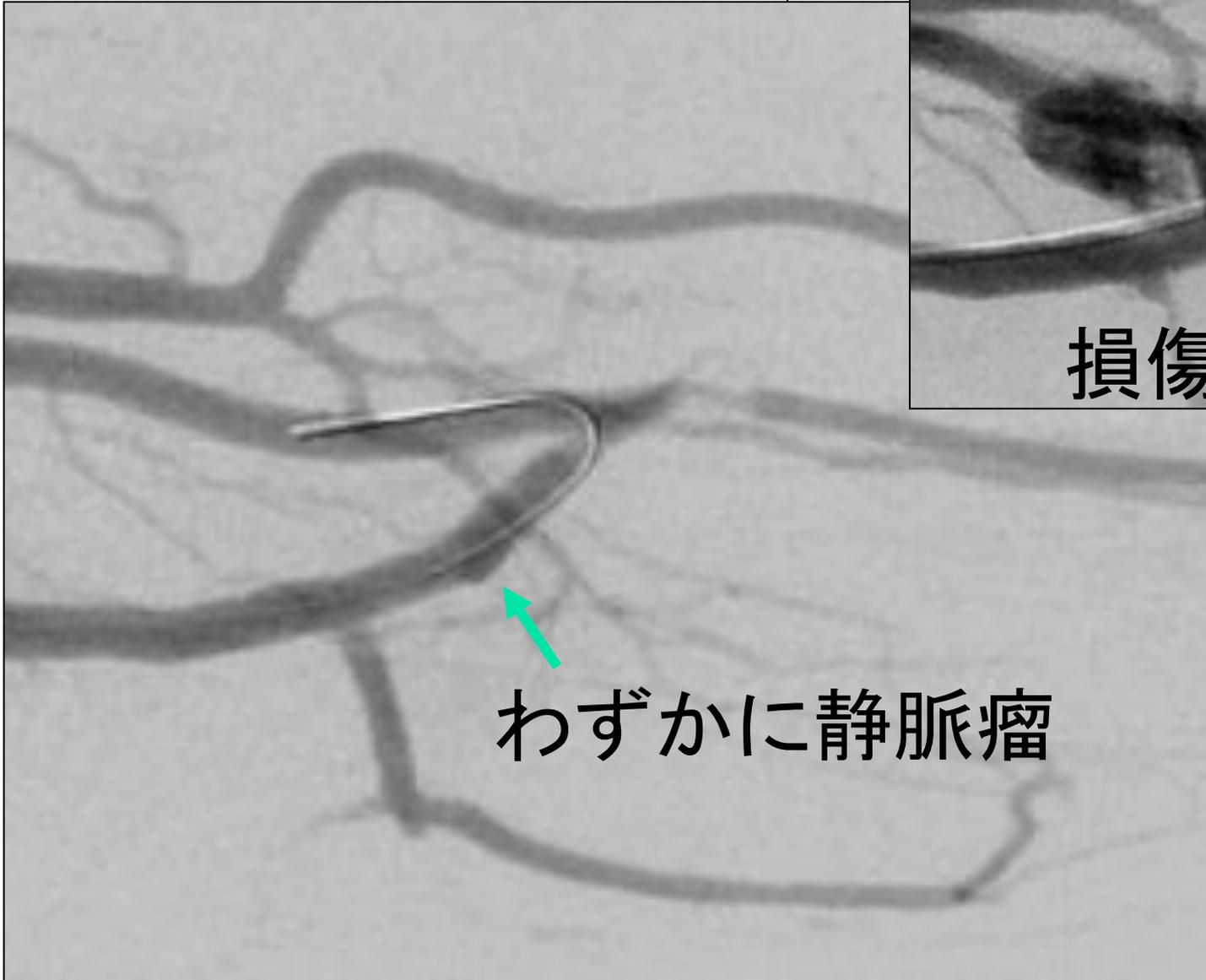
なんとか止血できて....





PTA前

狭窄の改善



損傷部位

わずかに静脈瘤

反省点

- デバイス
選択したバルーン径がover
- 手技
Inflateが早すぎた。雑。術者が未熟。
- 患者因子
ステロイド長期投与、全身状態不良例

反省点

- デバイス
選択したバルーン径がover
- 手技
Inflateが早すぎ
- 患者因子
ステロイド長期

あれから2年経ちますが
振り返っても
適切だったと思っています

健常血管径の1.1倍までのバルーン、
との記載あり

反省点

- デバイス
選択した
- 手技
Inflateが早すぎた。雑。術者が未熟。
- 患者因子
ステロイド長期投与、全身状態不良例

焦らず、ゆっくり、丁寧、慎重に、
を心掛けています。
今も深く反省している点です

反省点

- デバイス
選択したバルーン
- 手技
Inflateが早すぎ

やはり関係あったのでしょうか？
わかっていれば予防できる合併症？

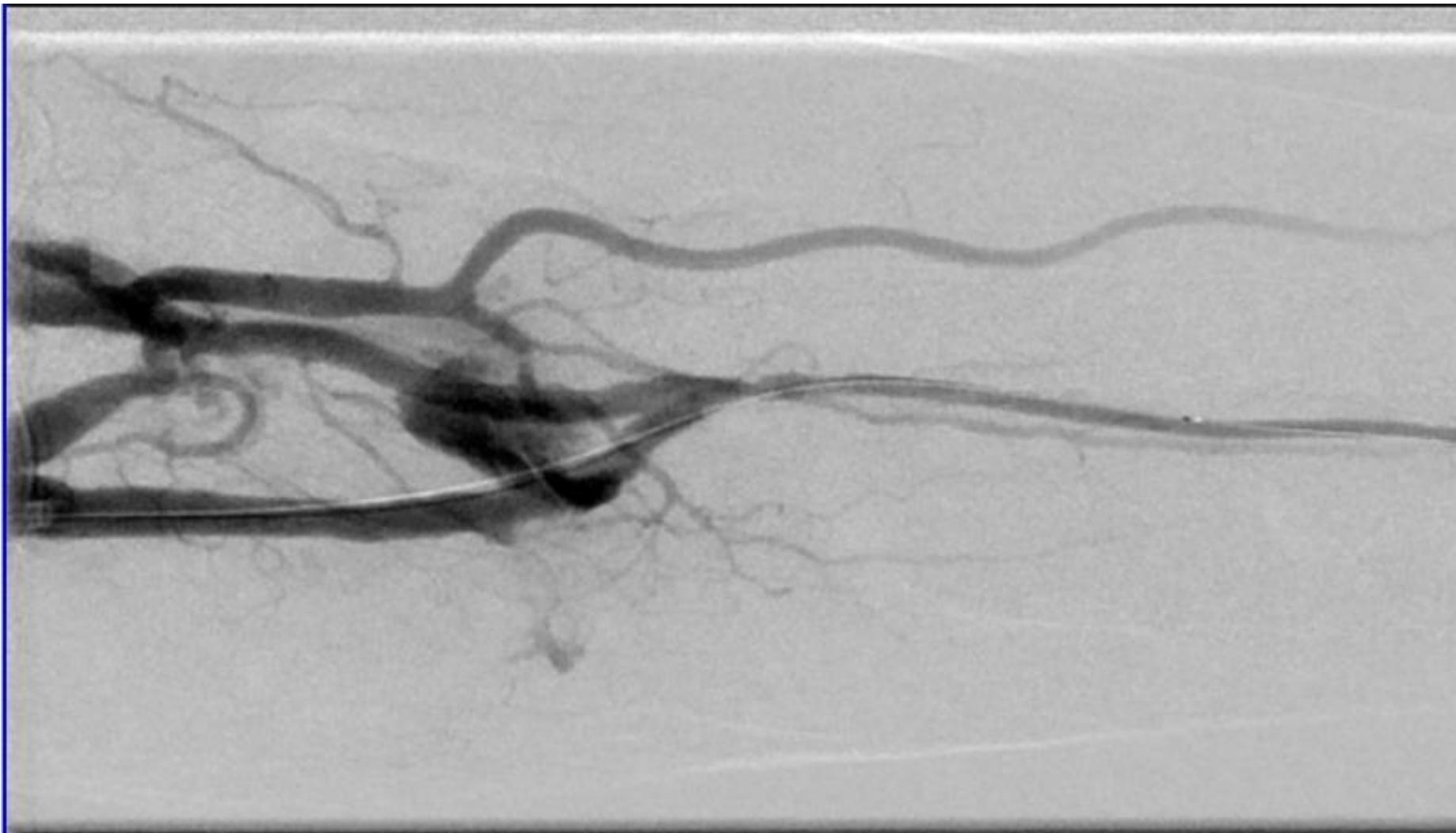
- 患者因子
ステロイド長期投与、全身状態不良例

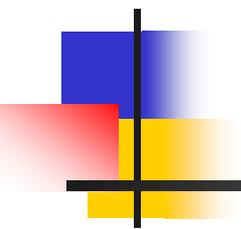
皮膚線条、皮膚萎縮、ざ瘡、紫斑

その後

- シヤント不全なく(PTAの追加なく)、透析続行可能
- 2014年6月も生存を確認しています
(当院看護師の実母)

御討議お願いします





反省点

- デバイス
選択したバルーン径がover
- 手技
Inflateが早すぎた。雑。術者が未熟。
- 患者因子
ステロイド長期投与、全身状態不良例